とかち新聞
主筆 松山明
発行所 北海道足寄郡足寄町 とかち新聞社 電話 2〇〇1番
毎旬5の日発行　1カ月200円　1カ年前納2,000円

自民党政治を批判

中川代議士 大いに語る

自民党の中川一郎代議士は十七日に陸別、足寄、本別の三町で政局を語る会をひらきましたが、足寄会場の消防会館には約二百名の支持者があつまり、中川後援会の石田副会長の司会で思いをこめて泳いだ辰夫氏のあいさつ、高橋から、中川代議士が約一時間にわたって（ぎのようなことばかり考えている』というければ、世界中へいつて悪いことをしているフランスの事件、韓国の事件、テレアビルの事件、イスラエルでの事件、台湾とは戦争状態、韓国とのあいだは大荒れ、東南アジアへいけば日の丸が焼かれる、メキシコへいつても大統領から開口一番『日本は目先の事ばかりで、九〇%は反日の国民党の支持率は四〇%だからもう自民党の政権ではない、自民党は国民の支持政党ではない。

国民の支持はない

いまの日本は自衛隊は憲法違反だといわれて泳いでいるし、国は乱れて外国からはエコノミックアニマル（経済奥利本位の動物）といわれ、金さえもうければよいと、世界中へ悪いことをしている陽になればいくらかまともな政治がおこなわれるのではないかと反抗藤動いたが、田中さんになつたらなお一層評判が悪い、田中内閣ができたときの支持率は六六%だつたが現在は一〇%に落ちた。

私が政界に入つた当時は立派な政治力を発揮してのような北海道を開発したいと政界に入つてできるだけのことをしてきたが、自民党は段々悪くなつてきた、田中内閣になればいくらかまともな政治がおこなわれるのではないかと反抗藤動いたが、田中さんになつたらなお一層評判が悪い、田中内閣ができたときの支持率は六六%だつたが現在は一〇%に落ちた。九〇%は反日の国民党の支持率は四〇%だからもう自民党の政権ではない、自民党は国民の支持政党ではない。

パンダは人喰い熊

なぜ自民党がこうまで落ちこんでいるのか、こういうことは政策が間違つている、ひとつは党の体質がなつていない、外交についていうなら自民党は自由主義国家群との提携で成り立つていたのに一昨年の日正常化いらい中国や北朝鮮と接近して、仲よくしなければならない韓国や台湾や東南アジアとのあいだがうまくもならなくなつた、そして中国からパンダをもらつてきてパンダパンダで、この前の衆議院選挙で自民党のシンボルマークはパンダだつた愛敬はいいがオリのなかへ入れば人間を喰つてしまうが、田中さんは日本の熊で、見かけはよいが共産党と同じで、本当はおしつけたが、日本人がつくザインをかけた小笠原貞子さんみたいなもので、共産党はいいといつてもらいたいよ共産主義の世の中になれば一党独裁のファッショ政治となる、選挙すらない、共産党がパンダが富士山をシンボルマークにしているのだから日本はどうかしている

マッカーサー憲法

日本は終戦を迎えて物心両面なにもなくなり、そこへマッカーサーが乗り込んできた、ドイツのように分裂国家にされるところ将介石さんが「日本はそれはできない」と主張してそれが通り、そこへマッカーサーが乗り込んできて憲法を押しつけたが、日本人がつくつた憲法でないことは間違いない、天皇陛下さえも一億国民を助けてもらいたい明るい生活ができるようにしてもらたいとお願いいからたたかう姿勢がなくなつたら、マッカーサーはあの帽子をかぶつてパイプをくわえポケットに手を突つ込んで応対してチョコレート一枚を投げつけてくれたが、そういう時代にさつくつた憲法で、だから日本がグニヤグニヤで民主主義、言論の自由だ、思想の自由、集会の自由、なんでも自由、結事にして百倍の台湾を捨て社の自由が、騒ぎたいものはウンと騒ぎなさい、ムチヤクチヤに歯止めのない世界になり自由をあたえた、それからまた労使も対立するようなり、家族制度を破壊してしまつて子供は親の面倒をみないで結婚してもよい親が死んだら子供は財産を平等にもらえるが、だから親がそろそろ死ねば値金返せるのにというようになつた

総理になるために

いくら選挙をやつても自民党と社会党や共産党とは併行線で、自衛隊はいらない警察もいらない、教育は日教組に騒がせとけばよい、学校の先生には普通の公務員より月給をあげる人材確保法案に日教組と社会党が猛反対、田中内閣になつて選選挙すらなくなつたら、選挙は選挙ではなくなつて、特に外交については社会党と同じで台湾を切つてからどうなつたか、台湾へ飛行機は乗り入れられない、一年に台湾へは百万人、中共へは一万人、百分の一しか飛ばないのを大たばかりでなく、日本の飛行機が台湾の上空を飛べなくなり世界の航空の銀座通りを飛べないのでヨーロパ行きは一時間半も遠まわりしている、いまのマスコミは狂つているからよく書いていないが非常に厳しい状態で、田中平和条約を結ぼうとしているがこれができたら台湾は海上封鎖をする、そうなつたら油もこない、鉄の材料もこない、日本は大混乱になる

田中さんが総理大臣になるときに三木さんの協力を得るためにその交渉にいつたのが木村武雄さん、これが悪い奴で、大臣になる、よかろう、台湾を切つて日中正常化をやる、よかろうと約束した、総理大臣になるために外務大臣にしてやる、委員長にしてやる、政務次官にしてやるといつて総理大臣になつた

恩恵ない中小企業

日本は経済大国といわれるが治安は乱れ道義はなく憲法によつて国会のかなかはバラバラになり日本中はゼニカネだけの出世主義、このまま経済成長をつづければ日本はもたない、資源もない、外国でものを買つてくれない、工場を建てるいつても公害で建たない、ものを運ぶといつても交通が混雑してどうにもならない、大企業ばかり肥るが中小企業にはなんらの恩恵はない、ただ労賃があがり物価があがつてツワセがくるだけで、こうしたことから福田さんと政務次官のときに安定成長でなければならないといつづけてきたが、日本列島改造といつて新幹線をつくり四国に三つ橋を架ける、ひとつが三千億円だから九千億円、北海道開発予算が三千億円、だから鉄が高くなる、セメントが高くなる、木材が高くなる、そのうちに高くなるから買つておいた方がよいと買い占めをはじめる、大混乱になつてしまつた。

福田さんとともにやめてからはベラボーな公務員のベースアップ、これからやがて秋斗、春斗、米の値段もムチヤクチヤ三七%もあげる、こういうことをやつていたのでは悪循環する、一回愚いけど国民に耐え忍べるようにしてもらつて物価もあがらないかわりに労賃もあがらない日本にし、その力を中小企業に地均しする政治にすべきで、それはできる。

ただ選挙に勝つんだといつて、企業から莫大な金をぐるみの選挙をやつてそれあつめてきてバラまけば選挙に勝てるんだという認識と、それだけでなく自由社会が危ないといつて大成建設はだれ、三菱はだれ、三井はだれと、企業ぐるみの選挙をやつてそれで勝てるんだという認識となつた。

（以下裏面へつづく）

主張　西小問題の打開策

（一）

足寄町議会は十九日からの三日間、西小学校の改築問題をめぐつて、財源難を訴えてシドロモドロな理事者側を議会側が厳しく責め立てるだけの併行線で、建設の場所も時期も決まらないということで、それだから現校地にしたいというわけでもちこしました。

（二）

現位置でも改築であれば用地拡張や仮校舎建設などをふくめて九億二千七百万円なのに、神社高台へ移転プックにしてあくまでも神工事によつて東小の補償移転なのに、神社高台へ移転プールなどが余分にかかるので十三億六千五百万円と、補助、起債以外の町費持ち出しが十億八千三百万円とあつて、とても財政的なみなおしがつかないということで、それだから現校地にしたいというわけでもないので論議は空転しているだけです。

（三）

それというのは、教育委員会では西小新築期成会をつくつたのは、こういうことは政策が間違つている、ひとつは社寓台への移築主張していたためで、理事者と教委東西二校の統合を考えるべきです。

（四）

それには現地改築による三年間も仮校舎教育をさせ、鉄道線路をこえて運動公園の片すみのガケふちの神社横地でなく、市街の中心地にある役場前広場を活用して、三分の二補助による統合校舎を建設し、授業に支障ないかぎりグラウンドを行事広場とし、オーケストラの生演奏ができるくらいの体育館を設けたいものです。

（五）

教委では西小と東小の市街地二校維持を方針として、片一方（西小）は約一千名の二十四学級、片一方（東小）は二百名足らずの六学級のままにしての二校では、片一方を農村部落化した現状固定でしかなく、中心市街地を二分した本来の二校にするのでなければ、近く国道バイパスの二校にしてあくまでも神工事によつて東小の補償移転たいものです。

長谷川氏をかこみ　四町の正副議長が会合

道議選への動き

十勝郡部の道議定数五名を四名に減員の動きが表面化してそのなりゆきが注目されているおりから、十六日に本別町の土橋会館で、明春の道議選に立起の意志を固めている長谷川義信氏をかこんで、四町議会の正副議長が会合しました。

この日あつまつたのは、本別の方川議長、足寄の大滝議長に斉藤副議長、陸別の竹内議長に松台副議長、浦幌の畠山副議長で、はじめに長谷川氏から議長在任中のお礼のあいさつがあり大滝氏が参会者を代表してねぎらいのあいさつがあつて懇談に入りましたが、話題はもつぱら長谷川氏の道議出馬について集中した形で、いずれも議会人仲間であり、特に方川氏は長谷川本別後援会の副会長、大滝、斉藤両氏は自民党足寄支部の相談役、竹内氏は自民党陸別支部長、畠山氏は党支部の話し合いで統一候補を立てようとしてきたこれまでの動きは、一転して長谷川氏支持に軌道修正に向うのではないかとみられますが、一応岡崎克雄氏を候補として大会決議で推薦している本別支部の立場が微妙なものとなりそうです

なお、足寄の大野耕太郎氏については十月はじめに去就を明らかにすることになつています。

体制に足をふみ入れた格好

このために、無所属の長谷川氏ではなく四町の自民党支部の動きは、一転して長谷川氏支持に軌道修正がて秋斗、春斗、米の値段

新柄婚礼衣裳
きものと帯は
久久保呉服店
足寄町 T二一四八

明るい スナック シャンブル
足寄町南一区 T 二四三九

霊きゆう車 葬儀仏具一式 花輪 生花
に 自動車 新津はなや
足寄町西三区 T 二六二六

カメラ 八ミリ 写真材料
上野カメラ堂
上野 復興
足寄駅通り T 二五一二

新畳 表替 中古畳 フスマ張替
二段ベッド 敷物一式 マットレス
小林畳店
小林幸三郎
足寄町大通り山口整骨院前 T 二四二八

技術と納期を誇る！
家具 建具 製造販売
住宅内装に新建材を！
家具と建材
信用は最大のサービス
佐藤家具建材店
足寄駅前 電話二二二一番

お墓を新造、改造する方などお気軽にご相談下さい（無料）
ただし毎日18時から20時まで（日曜は随時）
吉相墓研究会
主幹 高本修司
足寄町中央五区 高本とふ店 T 二五〇五

マッカラー スチール 共立 チエンソー代理店
刈払機各種 電動工具 造林用具 打刃物類 有限会社
鈴木鋸刃物店
（機械迅速修理）
足寄町大通り T 二三〇七